

# ふたみ

明石市立二見小学校

2019年度

5月号



潤いのある生活にするために

生徒指導担当 田嶋 優一  
中原 駿太

新しい学年になり1ヶ月がたちました。子どもたちは新しい学級にも慣れ、いきいきとした表情で毎日の生活を送っています。新たな学級になったこの1ヶ月での子どもの表情や動きはどうでしょうか。

自分の行動や学習に自信を持ち、人のために一肌脱げる子どもたちを育てようと、漢字の小テストを行ったり、2秒で立つ・座ることを行ったり、さまざまな活動に取り組んでいます。ペア活動や委員会活動の時、高学年の優しい表情や自信に満ちた表情がうかがえます。集団生活をする児童にとって、あいさつ、ろうかでの過ごし方、スリッパの整頓も、みんなが明るく安全に過ごせるようにしようという温かい気持ちからくる行動だと思います。5月からは運動会に向けて練習が始まります。一生懸命練習することを通して、友だちと協力する大切さやよさを実感させていこうと考えています。今年度も、授業や行事などを通して、子どもたちの優しさと自信の心を耕していきたいと考えています。

生徒指導とは、決して堅苦しい面倒なものではなく、互いを思いやることで、潤いのある生活にするためのものだと考えています。その結果、友達を大切にしたり、もっと自分を伸ばそうとしたりできる子を育てていこうと考えています。自分たち自身が、心豊かに生活していくために決まりを守っていく、そういう温かい学校になれるよう学校をあげて頑張りますのでご協力をお願いします。

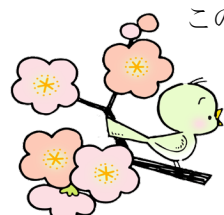


## ついに『令和』が始まります

校長 山田 祥千子

「明日から10連休だ。」子どもたちはわくわくしているのではないのでしょうか。通学路を歩いていると「平成も、あと〇〇日で終わりだ。」という会話が、あちらこちらから聞こえてきました。

4月1日に新元号は「令和」と発表されてから、あっという間の1か月でした。新しい元号は、大伴旅人が作ったであろうと言われる「梅花の歌」(『万葉集』)が、出典だと報道されています。



この歌は、梅のお花見会の席で作られた歌だそうです。現在、「花見」というと

桜が一般的ですが、奈良時代では、梅の花だったようです。また、大伴旅人は、大伴家持(百人一首「かささぎの 渡せる橋に おく霜の 白きを見れば 夜ぞ更けにける」を作った人)のお父さんです。このような日本の古典から選ばれた「令和」には、「明日への希望とともに、一人ひとりが美しい見事な

花を咲かすことの日本でありますように」という思いが込められています。この思いは、二見小の願う「いのち輝く子」につながるような気がします。そうおもうと「令和」が、身近に感じられてきました。また、先日新聞を読んでいると、「外務省は英語メディアに対して『令和』を説明する際には、『beautiful harmony』(美しい調和)という趣旨であることを伝えるように指示をした。」とありました。英語にしても優しくてかっこよくて素敵だなと思いました。

さらに、『令和』の幕開けの5月1日は「大安」で「すべてのことに良い日。」

新しいことを始めるのに良い日」とされています。六曜の由来は確かではなく根拠のない江戸時代からの日本人の習慣ですが、悪い気はしません。



私が生まれ、大人になる日々を過ごした昭和、教員として周囲に支えられながら過ごした平成。どちらも私を成長させてくれた素晴らしい時代でした。次の時代『令和』は、私にとって、つまり二見小学校にとってこれまでの時代以上に「令(よ)い和(なご)やかな」時代となるであろうと信じています。新たな時代の幕開けを祝いたいと思います。

<お礼>

本日の授業参観・PTA 総会に多数御来校いただき誠にありがとうございました。教職員も大きく入れ替わり新たな二見小のスタートとなりました。今後とも、本校の教育活動にご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 「できた!」「わかった!」を積み重ねて

~自立に向けて~

特別支援教育コーディネーター 敦見 かおり  
青木 るみ子

1年生が入学して1か月が経ちました。初めて体験することに、「やってみたい!」「楽しい!」と目を輝かせて取り組んでいる子がいる一方、不安を抱えて過ごしている子もいます。

特別支援教育は、そんな不安を抱えている子どもたちに寄り添い、「なぜかな?」「どこで困っているのかな?」という疑問を持ち、個に応じた支援をしていくためのものです。決して特別なものではなく、子どもたちが「わかった!」「できた!」と笑顔になり、自信を持って日々の生活が送れるよう、様々な方向からアプローチしていくことで、子どもたちが達成感を積み重ね、自立に向けて歩いていくサポートをしていきます。

今年度も特別支援教育を充実するために職員一同、保護者の方との連携を大切に取り組んでいきます。お子様に関して気になることや、関わり方で悩まれていることがありましたら、いつでも担任やコーディネーター(敦見・青木)あるいはスクールカウンセラー(岩崎)にご相談ください。一緒に適切な手立てを考えていきたいと思っています。

